

あなた 女性の力で島はよみがえる！

～島の未来のため 今こそ立ち上がるとき～

たけはら由里子の思い



★なぜチャレンジを決意したのか？

① 女性の声を議会に届け、議会を活性化したい!!

子育て支援の政策や予算が少なくなっても、女性議員がいなくなったことで、議会で取り上げてもらえなかった。女性の声をもっと政策決定の場に届けることで、異なる意見の尊重や多様性を認めるまちづくりをしたいと考えた。

② 大好きな壱岐を子育てしやすい島に!!

20年前、「壱岐では障がいを持った子は育てられない」と、壱岐を離れた友人の声を聞き、このままでは壱岐に子育てできないと危機感をもち、自主育児サークル「ひまわり」を主宰、仲間と共に子育て情報誌「きつずあいらんど」を発行した。

文化芸術・体験・自学自習型の学び場・地域子ども教室などの第3の居場所づくりの活動に関わるが、島を離れる親子が増え危機感をもち、自然豊かな壱岐でのオンライン交流で、世界に羽ばたく人財を育てたい。子育て世代の移住を増やすには、住環境の整備と医療・福祉と教育の充実が急務。

③ 壱岐を支えてきた高齢者からのバトンをつなげたい!!

「今の壱岐を何とかしたい」と、リコール署名活動をする高齢者(80代90代)のひたむきな姿に感動した。市政に対する熱い思いと行動力のバトンを受け取り、次世代につなげたいと考えた。

★議員になってやりたい7つのこと

① 税金の使い道や優先順位を決めるため、市政を**チェック・無駄遣いストップ**

② 社会的弱者の話を聴く・・・対話会「ひまわりカフェ」の開催

③ 議員定数の削減・・・議会を活性化

④ 政治の庶民化・・・女性や30代以下の議員を増やすための学習会や

市民との意見交換会を定期的を実施

*生活をよりよくするために、女性や若者がもっと政治に関心を持って欲しい
障がい者なども一緒になって「自分ごと」としてまちの未来を語り合う場をつくる。

⑤メンタルヘルスを充実させ、自殺者数を減らしたい。

うつ症状などで受診できる医療機関や相談窓口が少ないため、県下でも自殺率が高い。残された家族のフォローも必要。

⑥高齢者・障がい者(児)等の声を聞き、住みやすい島に！

高齢者・障がい者が活躍できる場や気軽に集える場をつくる。

⑦動物・ひと・環境にも優しい島に！ 豊かな食を子ども達に！

いろんな意味で、また、シンプルに、「おはようございます」、「さようなら」、「ありがとう」、「ただいま」、「おかえり」等の挨拶を大事にしていきたい。マイクロプラスチック問題は海の環境にも影響するので、壱岐の海を守るため、家庭から環境問題に取り組む。地産地消・郷土料理など壱岐の食材の良さ・食育の大切さを子ども達に伝えたい。

★議員になってまず提案したい3つのこと

- ①だれひとり取り残さない教育 個別自学型学習の推進(不登校などの児童生徒に)
- ②子育て支援の充実 壱岐版 ネウボラ(妊娠から就学前までの母子と家族支援)
- ③国際理解と英語学習の充実 壱岐市国際交流団体の設立と海外からの移住者支援

ご意見をお聞かせください。

たけはら由里子 後援会事務所

〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触 637 (高岡司法書士事務所跡)

TEL 0920-40-0400 メール yurikotakehara5@gmail.com

Facebook <https://www.facebook.com/iki.takehaara.yuriko/>

HP <https://takeharayuriko.com>

武原由里子後援会 : 十八親和銀行 壱岐支店 5001051

ご支援ご協力のほど、よろしく申し上げます。

